

2023 年度 定時社員総会議事録

一般社団法人芦屋大学・短期大学同窓会

開催日時：2023 年 6 月 25 日(日) 10:30 ～ 11:15

開催場所：神戸三宮センタープラザ西館 6 階 16 号室 / リモート

出席者：

社員総数 20 名

出席した社員数（委任状及び書面による議決権行使者 4 名を含む。）14 名

出席理事 4 名

出席監事 1 名

≪審議事項≫

第 1 号議案 任期満了に伴う人事(案)

第 2 号議案 2022 年度計算書類の承認ならびに事業報告の件

第 3 号議案 2023 年度予算計画書（案）ならびに事業計画書（案）について

≪配布資料≫

(ア) 社員総会アジェンダ

(イ) 2022 年度 決算報告書

(ウ) 活動計算書 補足版

(エ) 2022 年度 事業報告書

(オ) 2023 年度 会員数一覧

(カ) 2023 年度 事業計画書(案)

(キ) 支部総会実施までの流れ

(ク) 2023 年度 予算計画書(案)

(ケ) 会場にお越しの方のみ交通費申請書

議 事

事務局より、本社員総会で使用する Web 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認したあと、スケジュールと資料の確認が行われた。

白石会長より本日初めてご参加された神戸支部代議員 3 名の紹介がされた。

議長は定款第 20 条の定めにより白石会長があたることに全員異議なく承認され、社員の過半数の出席により成立の条件を満たし、定足数に達している旨を報告。続いて、本社員総会の議事録署名人は定款第 23 条の定めにより議長ならびに代表理事とすることが事務局から報告された後、議長より議案内容の説明ならびに進行の注意点が述べられ議事に入った。

第 1 号議案 任期満了に伴う人事(案)

白石会長より、2023 年 6 月 23 日(金)の理事会に於いて、全会一致で白石方一の会長続投が承認され、任期満了に伴う理事の選定についても白石会長に一任することも承認されている旨の報告がされた。

白石会長より、定款の定めにより理事及び監事の全員が本総会の終結と同時に任期満了退任するため、第 3 期目の後任役員に関して、理事、盛田英夫氏、疋田直太郎氏、森下博行氏、簡 智成氏、白石方一の 5 名、監事は隅谷成美氏を選任したいと提案がされた。

白石会長より、今年度中に同窓会運営を若い世代に移行する準備と各支部との連携強化を図りたい、それと理事の定数を増やすことも考えているという考えが述べられた。

議長が議題 1 について議場に諮った結果、全員異議なく承認された。

盛田副会長から理事の任期について質問があった。

白石会長が理事の任期は 2 年、再任もあると述べられた。

続いて、大学 4 期生の塚本能交氏に特別アドバイザーという立ち位置で同窓会に関して頂くことの報告がされた。

第 2 号議案 2022 年度計算書類の承認ならびに事業報告の件

疋田副会長から 2022 年度(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)の計算書類について、配布資料「2022 年度 決算報告書」を基に説明が行われた。

損益計算書に記載通り、経常収支の部、同窓会入会金、年会費・寄付金、総会参加費等の収入合計が 5,052,377 円。事業費合計が 5,482,169 円。したがって、経常収支差額はマイナス 429,792 円となり 2022 年度は赤字決算となった。

続いて、正味財産合計は 44,092,200 円であることが説明された。

事務局より、本会会計については小倉税理士事務所による外部監査と内部監査の 2 本立てで透明性ある会計を行っていることの説明がされ、活動計算書の細かな説明がされた。

2022 年度赤字決算となった要因は経常収益にあると考え、同窓会入会金が予想より 5 名

少なく、年会費・寄付金収入が予想より下回ったことだと説明。経常費用は予算額より約 67 万円抑えることが出来た。これは支部総会の案内状発送費用がかからなかったことが理由と説明。

過去から思うと、赤字額が 3 ケタ台から、2 ケタ台になっている。経常費用の経費削減と工夫が実りつつあり、お金の流れに安定性が見られるため、同窓会入会金と年会費・寄付金さえ理解が得られれば、黒字会計で運営が出来るようになるのも近いように感じていると説明。本会は 2022 年度から電子帳簿の保存を始めていると報告があった。

引き続き、林監事より 2022 年度会計監査について、2023 年 5 月 10 日、帳簿と収支報告書の確認、帳簿と領収書、通帳との突合せの確認を行い、決算報告書については帳簿ならびに領収書など関係伝票書類に基づき、監査の結果、会計基準に則り適正に処理されていたことの報告がされ、全一致で確認された。

続いて、盛田副会長より配布資料「2022 年度 事業報告書」を基に説明がされた。

昨年の秋の同窓祭は、大学施設内で実施したがゆえに、大学男性卒業生の横柄な言動が目立ったと報告を受け、理事会としても役員配慮が足りなかったことは反省し、お手伝いをしてくださった卒業生に謝罪がされた。そのようなことから、今後の秋の同窓祭の企画構成を変更すると説明。

同窓会行事においては、幅広い世代、大学・短期大学卒業生が相互に楽しめる行事となるよう協力依頼がされた。年会費・寄付金の徴収については納付者数 102 名、納付額 1,826,000 円となり、引き続き、年会費・寄付金への理解が得られるよう努力をしたいと説明がされた。

盛田副会長より、年会費・寄付金振込期限が過ぎてしまい納付することが出来なかったことへのお詫びがあった。財務の安定については、昨年度 2022 年度は通常の活動に戻っている。年々、収入に対する支出の差が少なく、運営費の流れが安定している。同窓会への入会を最低でも毎年 165 名確保、年会費・寄付金は最低でも 200 万円得られるよう努力を重ね、運営費については継続した経費削減を行いたい。正味財産はこの 3 年、4,400 万円台をキープしているが余裕はなく、経費削減の継続と卒業生にとって魅力ある活動を行うことで、年会費・寄付金への理解に繋げたいと思っていると説明。大学との連携については、昨年、初めて学生支援を行ったが彼らが同窓会という存在に目を向けられる場面が作られたことは大きな成果だと思っていると説明がされた。

議長が議題 2 について議場に諮った結果、全員異議なく承認された。

第3号議案 2023年度予算計画書(案)ならびに事業計画書(案)について

まず、会員数の詳細について事務局より説明がされた。

配布資料「同窓会名簿 会員数詳細」に基づき、6月末時点での会員数総数は21,069名、そのうち連絡が取れない方が大学と短期大学あわせて7,388名であるため、連絡可能総数は、13,681名であることが報告された。今年度新入会員となった185名の方々には6月20日に同窓会歓迎のお手紙を発送していることも報告がされ、全一致で確認がされた。

盛田副会長から、配布資料「2023年度 事業計画書案」に基づき説明が行われた。当法人の事業目的に変更はなく、今年度の事業計画は基本、前年度と同様としている。新規取り組みについての説明が行われ、今年度の秋の同窓祭は企画内容の変更を提案する。お食事等の提供は行わず、参加費は無料とする。企画内容は会長挨拶や、抽選会、パフォーマンスは行わず、参加された卒業生がフリースタイルで楽しめる形式に変更。具体的な内容は、マルシェ、キッズゲーム、ワークショップ等の内容となっている。今年の秋の同窓祭は10月29日(日)であることが紹介された。

続いて、支部総会開催の案内は、今まで案内状を発送していたが支部活動を明確化するためと経費削減のため、今後は案内状の発送は行わず同窓会だよりに案内掲載を一括で載せることに変更する。次に、年会費徴収のため、秋の同窓祭会場内に年会費1,000円が簡易的に支払える場所の設置を考えているが、強引な支払いのお願いはせず、自然な形での設置を考えていると説明。現役学生への学生支援は例年通り行う。既に6月、ハラダパンの提供が行われ、盛況だったと聞いている。お手伝いをしてくださった皆様に感謝が述べられた。学園祭支援も昨年同様、ビンゴ大会の景品寄贈と同窓会賞を準備すると説明がされた。

事務局から配布資料「支部総会実施までの流れ」の説明が行われた。

盛田副会長から、小規模行事についても5月末までに届けないといけないのかという質問がされた。

事務局から、小規模行事はお茶会などを指しており、これは連絡が取りあえる仲間内でされている行事だと思うので届け出ていただく必要はないと回答。事務局からメールアドレス等の提供はできないと説明。

白石会長から大学と短期大学とのバランスの調整、関わりやすさを意識した行事を行いたいと考えが述べられた。大学だから、男性だから、先輩だからという考えは、この時代、通用しない。過去の同窓会のやり方を重んじるところは重んじているが時代や運営費の状況、卒業生の温度差、母校の状況、それらを考慮しながら運営をしている。同窓会を次に

繋いでいくためにも、30代、40歳代の卒業生がスムーズに関わっていただける環境を作ることが急務だと感じていると説明。支部総会において恩師を招待する際は特に大学に偏りが出ないように、大学と短期大学相互のバランスの配慮がお願いされた。

続いて、2023年度予算案について、配布資料「2023年度 予算計画書案」に基づき、正田副会長から説明がされた。法人化後、初めて黒字予算でのスタートとなると説明。

まず、予算に絡む前年度2022年度から方針変更した個所の説明が行われ、秋の同窓祭の参加費用は無料とし、経費がかからない形での開催に変更。支部総会開催案内状の発送は行わず、同窓会だよりで案内することに変更。これに伴い印刷代、発送代の削減につなげる。インスタグラム用スマホのプラン変更を行い1か月4,688円から2,279円に変更。以上のことから、経常収益5,460,377円、経常費用を5,363,148円としたので、2023年度は97,229円の黒字予算でのスタートとなることの説明がされた。

事務局より、細かな内訳が説明された。経常収益については新入会員を最低でも165名確保、同窓祭で年会費徴収場所の設置に期待をして、収入を昨年度より約40万円増額予想とした。経費削減を継続することで、経常費用は前年度2022年度より119,021円の削減が可能となっていると説明。

議長が議題3について議場に諮った結果、全員異議なく承認された。

盛田副会長より理事の数を増やしてほしいと意見があり、この発言を記録に残すよう発言があったが、白石会長がそれに対し、1年もしくは2年かけて、支部との連携、支部長にも関って頂き、公平にバランスをみて、皆さんの意見も聞き、協議しながら理事は決めたいと思っていると考えが述べられた。

盛田副会長からzoomで参加している人の自己紹介をしようよと発言。4名の方の自己紹介が始まった。

議長は以上をもって社員総会の議事が全て終了した旨を述べ、11時15分に終了した。以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人がこれに記名・捺印する。

2023年6月25日

一般社団法人 芦屋大学・短期大学同窓会

議 長 白 石 方 一
(議事録作成者)

以 上